

令和5年度愛別町歳入歳出予算総括表

(単位:千円・%)

会 計 名	本年度予算	前年度予算	比較	増減率		
一 般 会 計	3,241,000	3,219,000	22,000	0.7		
特 別 会 計	国民健康保険	353,221	355,050	△ 1,829	△ 0.5	
	国民健康保険診療所事業	150,560	114,477	36,083	31.5	
	後期高齢者医療	59,564	56,746	2,818	5.0	
	介護保険事業	516,870	520,661	△ 3,791	△ 0.7	
	公共下水道事業	207,984	216,991	△ 9,007	△ 4.2	
	小 計	1,288,199	1,263,925	24,274	1.9	
	企 業 会 計	簡易水道事業 (収益的収支)	165,729	145,936	19,793	13.6
		簡易水道事業 (資本的収支)	322,956	185,068	137,888	74.5
		小 計	488,685	331,004	157,681	47.6
	合 計	5,017,884	4,813,929	203,955	4.2	

■ 予算編成方針

我が国の経済状況は、ウィズコロナの新たな段階への移行が進められる中、各種政策の効果もあって、景気が持ち直していくことが期待される一方、物価上昇、供給面での制約、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要があり、「経済財政運営と改革の基本方針2022」においても、こうした社会課題の解決に向けた取組それ自体を付加価値創造の源泉として成長戦略に位置付け、官民が協働して重点的な投資と規制・制度改革を中長期的かつ計画的に実施することにより、自由で公正な経済体制を一層強化していくとしています。その中でウクライナ情勢に伴う原油・原材料、穀物等の国際価格の高騰や希少物資の供給懸念等に対する緊急対策を講じ、コロナ禍からの経済社会活動の回復を確かなものとし、今後も感染症の再拡大やウクライナ情勢の長期化に伴う原油価格・物価の更なる高騰の可能性など予断を許さない状況は続くと思込まれることから、予備費の活用等により財政需要にも迅速に対応して国民の安心を確保するとしています。

愛別町の令和3年度決算においては、実質収支では101,050千円の黒字であり、また、財政健全化法に基づく財政指標についても、いずれも国が定めた早期健全化基準の範囲内です。一方で経常収支比率については、高い水準で推移しており、財政構造の硬直化が一層進んでいます。今後においても人口の減少や新型コロナウイルス感染症や原油価格等高騰へ対応するための新たな行政需要などの影響によりさらに厳しさが増すことが予想されます。

令和5年度当初予算については、「第11次愛別町振興計画」の4年目を迎え、これまでの振興計画の成果を継承するとともに、町長公約の実現に向けた予算編成を基本方針とし、新たな視点で事務事業評価を実践し、住民生活の充実と寄与できるよう、諸般の行財政の現状を十分に認識しながら、健全で持続可能な財政運営と振興計画の基本テーマである「子どもの笑顔かがやく恵みの大地 あいべつ」の実現という基本方針の下、予算編成を行いました。

